

した。「Demola」はフィンランド発祥の国際的な企業課題解決ネットワークで、企業の課題に対して企業・大学生・大学が協働して新しいビジネスのコンセプトアイデアを共創するものとなっており、既に24社以上の企業と面談し、5社とプロジェクトを実施している。このほかにも都市整備型事業によって、北大と小樽商科大学の産学連携組織が協働し、北海道のスタートアップ支援事業を加速させる中核施設として広域エリア統合プレインキュベーション拠点【HX：エイチクロス】を創設して2021年8月に始動した。

### (3) SDGsと医療

経済産業省が関係省庁と連携して策定した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」で示されている「グリーン成長戦略で重要とされた14業種」に医療系・バイオ系は含まれていなかったが、今後は再生可能エネルギーによるZEB（Zero Energy Building）の病院作りを目指すなど、資源を捨てずに循環させるような環境負荷のない医療・病院を目指す必要があるのではないかと感じている。また、個人的な見解になるが、病院評価の新しい評価基準としてESG（環境・社会・ガバナンス）の観点求められる可能性があるのではないかと考えている。

### 3. まとめ

岸田政権は新しい資本主義を方針として掲げ、成長と分配を実現させるために経済財政政策として科学技術立国やデジタル化による地方活性化などを進めようとしている。具体的には10兆円規模の大学ファンドの運用やスタートアップの支援、デジタル田園都市国家構想などを実施しようとしており、科学がここまでクローズアップされたことは今までなかったと記憶している。大学や医療は新しい資本主義実現のためのメインプレイヤーとなりうる可能性があると感じている。

最後に、個人的な希望になるが、高等学校で一番頭が良いと言われる人が医学部に進学する傾向にあるため、医学部の学生には卒業後、さまざまな立場から医療改革や起業、革新的医療などに携わって欲しいと思っており、大学や医学、医療には社会変革のプースターとしての役割を担って欲しいと思っている。



寶金先生のご講演で、大学は国力強化に向けた社会を支えられる人材育成のみならず、経営の視点が要求されるようになったという、大学の役割の変化のお話は大変印象的でした。さらに、大学の合併や再編の背景には、生き残りをかけた大学改革があるということを知りました。北大の改革がさらに実を結び、北大のみならず北海道、そして我が国を牽引する原動力となることをご祈念申し上げます。



**みんなで乗れば、  
未来が変わる。**

考えよう。行動しよう。公共交通の未来。

公式 Web サイト <https://www.hokkaido-rail-k.jp/railzell-cam>

北海道医師会は、北海道鉄道活性化協議会（会長：北海道知事）の構成団体として、JR北海道をはじめとする公共交通機関の利用促進に協力しています。

会員の皆さまにも是非ご支援を賜りますようお願いいたします。